

【路線の概要】

国道468号首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、都心から半径約40~60kmの位置に計画されている延長約300kmの自動車専用道路であり、都心から伸びる放射道路を環状に連絡することによって、都心部への交通を分散し、渋滞の緩和が図られます。

また、(仮称)西久保JCTから八王子JCTまでの開通により、圏央道によって東名高速と中央道、新湘南バイパスが連絡されることになり、既に開通している中央道と関越道との区間と相まって、より広域的な利便性の向上が期待されます。

